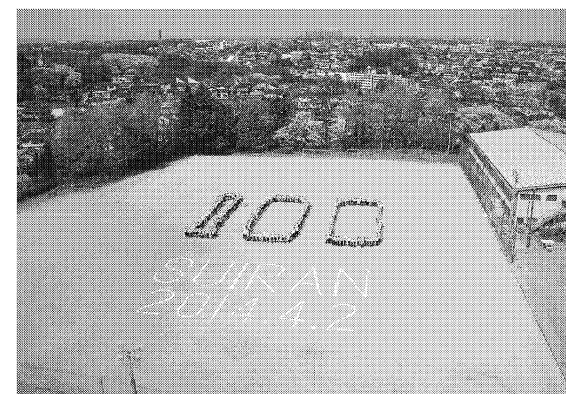


みらいに翔る100周年



「翠嵐」と記された正門前で伝統の重みを実感した座談会出席者

■ 座談会出席者
★ 在校生代表
菊地 遊帆さん(1年)
高橋 陵矢さん(2年)
宇都宮 錦穂さん(2年)
英司さん

県立横浜翠嵐高校（横浜市神奈川区三ツ沢南町、以下翠嵐）が創立100周年を迎えた。1914年、県立第一横浜中学校（旧制中学）として開校して以来、初代校長・瀧澤又市が唱えた「平凡主義」を基礎に「大平凡主義」を校風として、各界で活躍する多彩な人材を輩出してきた。創立100周年を迎えた今、翠嵐のさらなる発展を目指して、豊かな教養と品格を備えた人材の育成、国際社会で活躍しリーダーシップの取れる人材の育成に取り組んでいる。11月4日の記念式典に向けて、在校生代表と渡辺英司校長に翠嵐の魅力や歴史の重み、夢の実現、翠嵐の未来を語り合つてもうつた。

次世代に誇れる活動を生徒、学校、OB一体で

菊地 100周年は、入

学時には意識していませんでした。が、生徒会の役員を務めるようになってから1

00周年の重さを感じるようになりました。この学校にこれからも残るものをお

ます。

